



「利用者の心の変化に気づく看護とは」



平素は格別のご最眞にあずかり、お世話になりまして誠にありがとうございます。

梅雨明けは例年と同様で短い梅雨となるようです。水不足が心配ですが、集中豪雨、線状降水帯の出現と、むしろ水害が心配です。猛暑続きで家にいても、熱中症に予防が必要です。頭痛や眩暈、発熱や気分が悪くなったら、救急処置は、意識を確認して、返答が曖昧な時は救急車要請。水分が摂れそうであれば、水分と塩分を取る。体が熱いときは頸動脈・脇の下・鼠径部を冷やしてあげましょう。屋外では涼しいところへ移動させてあげましょう。自分でも時々衣類の中の空気を入れ替えるなど籠り熱を逃がしてあげましょう。喉が渇く前に水分補給や水分制限のある方は冷たい水でうがいをするなど、急激な体温上昇に気を付けていきましょう。

利用者様、ケアチームの方々とはご縁だと思い、ご縁が繋がっている方への思いやりや寄り添う事は当然の事と捉えています。個々の利用者様の「思い・ご意向」を引き出し、寄り添う事を大切にしております。些細でも「希望を持って生きる」事を関わる皆様と一緒に考える事からのスタートです。小さな小さな訪問看護ステーションですが、地域の中でお陰様でお役に立ててありがとうございます、と感謝の初心を忘れず、他職種とのネットワークの中で、利用者様、ご家族様の笑顔が見られる様に、笑顔で訪問できる様とプロとしての知識やスキルアップに研鑽して参ります。一度しかない人生、何処で生活していても自分らしく生きられる環境や世の中でありまう様に祈念しております。地域で暮らすお一人お一人の療養生活を支えられますように、地域連携の一員として、おもてなしの心に磨きをかけて参ります。今回は「**利用者の心の変化に気付く看護とは**」の事例です。ホームページ『ネットワーク訪問ナースステーション』で検索すると、一番上に出てきますので、是非覗きにきてくださいね(橋井)

K様70代後半、男性。要支援2、生活保護受給。現病歴：高血圧で近隣クリニックで降圧薬や目薬処方。既往歴は不明で、精神疾患の診断はないが、若い頃より吃音的で声が小さくコミュニケーションを取るには時間を要す。出身は関東で両親は他界、兄弟や結婚歴もなく九州に遠い親族がいるが音信不通。唯一の友人(男性)が近隣に住んでおり週に1~2回は遊びに出かけている。賃貸2Kアパートに居住、買い物や外出、部屋の掃除等も自分で出来ていたが、最近になり出先の屋外で転倒することが多くなり、地域包括支援センター経由で訪問看護の導入に至る。担当者会議にて訪問看護週1回、訪問介護週2回(シャワー浴介助・室内清掃等)、福祉用貸与(タッチアップ)、シャワーチェア購入。サービス自体に拒否はなく、気が向くと、自ら近隣へ買い物に出かけたり、バスに乗り込んで通院も出来ていた。サービスも安定してきた頃「最近飲み込みがスムーズにいかない」と訴えるようになり、かかりつけ医に受診相談するように伝える。クリニックでは検査不可で総合病院の紹介状を持って、数日後、総合病院を受診。当時はコロナ禍で、検査はかなり先になると説明を受けた。訪問時に傾聴すると、本人は総合病院で入院治療出来るものと思っていたので、ショックを受けていた。コロナ禍で軽症の患者さんはなかなか入院出来ないと説明しその日は退室する。翌日になり友人宅に遊びに行ってる最中に嘔気があり、夜中に救急車要請するも救急隊が症状が軽症の為、搬送せず。ヘルパーさんから情報が入り、緊急訪問するも「俺はどうなってもいい」と投げやりな発言があった。バイタルサインや急を要する症状もなくクリニックに報告のみ。翌日ステーションに警察署から電話が入り、「K様と思われる方が昨夜〇〇埠頭で水死体で発見されたが、本人確認出来ないで確認して欲しい」との内容であった。ご本人を確認し、1月の極寒な海での投身なのか転落なのか不明ではあったが、埠頭まで行った心情を想像するだけで眩暈がしショックでした。ステーション内でも振り返りを行い検証しました。チームとして訪問看護師として、利用者の心の変化に気付く看護や未然に防げなかったものかと思案しました。K様の中ではどの段階で決心に至ったのか本人でなければ分からない部分ではありますが、今でも自分たちの力不足を感じ、悔いの残る事例です。失敗ではなく、次への学びの機会として、K様が身を挺して教えてくださいましたことを真摯に受け止め、これからの看護・チームでの役割等の再構築や自己研鑽を積み重ねていく所存です。(田中)



神経難病、認知症、精神疾患、がんターミナル、看護師によるリハビリ等を特に得意としております。悩んでいるご利用者に医療相談や訪問看護お試しサービスを無料で行っております。お気軽にお問い合わせください



Facebook
ございます！



24時間対応

ターミナルケア・お看取りも
対応いたします

訪問地域

その他の地域もぜひご相談ください！

世田谷区

松原・代田・代沢・豪徳寺・梅ヶ丘・宮坂・経堂・赤堤

杉並区

永福・和泉・浜田山・下高井戸

〒156-0043

世田谷区松原2-41-15エテルノ明大前203



ネットワーク訪問ナースステーション

TEL:03-6762-2272

FAX:03-6767-3703

03-6379-0684

